



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

金沢大学 産学官・知財関連レポート

2013



金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構
Organization of Frontier Science and Innovation, Kanazawa University

金沢大学 産学官・知財関連レポート 2013 目次

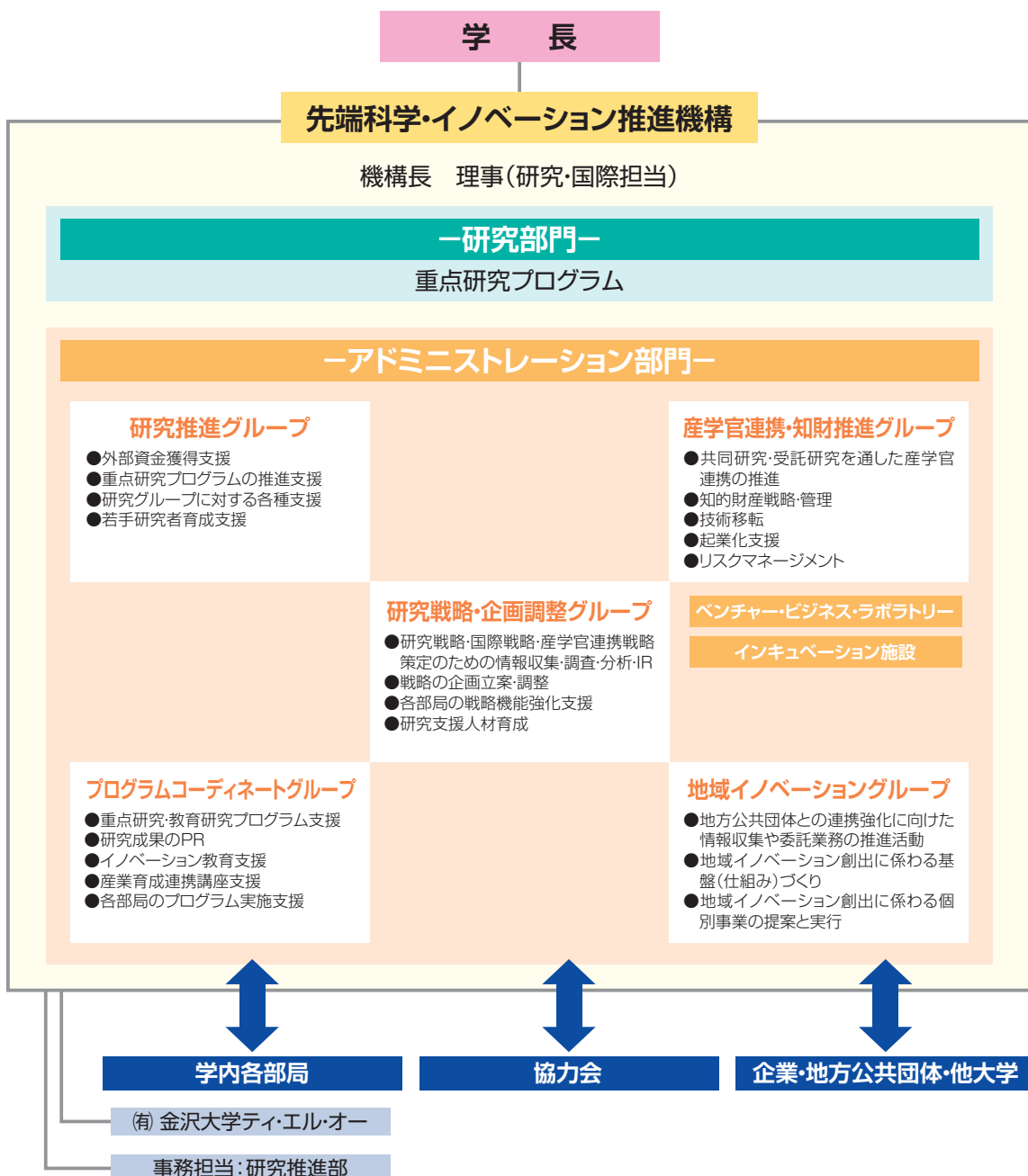
1. 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構について	1
・ 組織図	1
・ 機構スタッフ	2
2. 共同研究について	3
・ 共同研究件数（年度別）	3
・ 平成24年度 共同研究 分野別実施状況（227件）	3
3. 平成24年度 共同研究一覧	4
4. 特許出願について	9
・ 発明届出・特許出願件数（年度別）	9
・ 平成24年度 特許出願 分野別内訳（57件）	9
5. 平成24年度 公開特許出願一覧	10
6. 特許実施許諾について	11
・ 実施許諾契約件数（年度別）	11
・ 実施料収入額（年度別）	11
・ 特許権実施等件数及び収入における個別実績（平成23年度）	12
※文部科学省「平成23年度大学等における産学連携等実施状況について」より	
7. 研究成果有体物の譲与・受入状況	13
・ MTA 譲与（年度別）	13
・ MTA 受入（年度別）	13
8. ご案内	14
・ 科学技術相談について	14
・ 技術アドバイスサービスについて	14
・ 共同研究について	16
・ 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会のご案内	19

1. 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構について

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構は、部局等を超えた学際的融合新領域の創出により金沢大学の教育研究の一層の高度化を推進し、かつ基礎研究から応用研究まで一貫した研究支援と産学官連携による研究成果の社会還元を促進し、もって本学の教育研究の活性化と社会貢献に資することを目的としております。

組織

本機構は、理事（研究・国際担当）を機構長として、重点研究プログラムを含む研究部門と、研究支援を担当するアドミニストレーション部門で構成されます。



組織機構スタッフ紹介

機構長

山崎 光悦 (理事 (研究・国際担当))

副機構長

廣田 英樹 (学長補佐・特任教授)

アドミニストレーション部門

グループ名	主担当	副担当
研究戦略・企画調整グループ * グループリーダー 廣田 英樹 (学長補佐・特任教授)	吉國 信雄 (教授) 稲垣 美幸 (助教) 鳥谷 真佐子 (特任助教) 寺本 時靖 (特任助教) 石野 裕子 (博士研究員)	今井 康人 松枝 世
研究推進グループ * グループリーダー 金子 周一 (学長補佐・教授) * 副グループリーダー 今井 康人 (特任准教授)	稲垣 美幸 (助教) 鳥谷 真佐子 (特任助教) 寺本 時靖 (特任助教) 薛 芸 (博士研究員)	渡辺 良成 米田 洋恵 松枝 世 石野 裕子
プログラムコーディネートグループ * グループリーダー 渡辺 良成 (教授)	安川 直樹 (博士研究員) 米田 洋恵 (研究員) 松枝 世 (研究員)	分部 博 稲垣 美幸 鳥谷 真佐子 寺本 時靖 薛 芸 石野 裕子 平子 紘平 澤村 奏絵 渡辺 奈津子
産学官連携・知財推進グループ * グループリーダー 分部 博 (准教授)	澤村 奏絵 (研究員) 渡辺 奈津子 (研究員)	渡辺 良成 平子 紘平 安川 直樹
地域イノベーショングループ * グループリーダー 吉國 信雄 (教授)	平子 紘平 (特任助教)	安川 直樹 澤村 奏絵 渡辺 奈津子

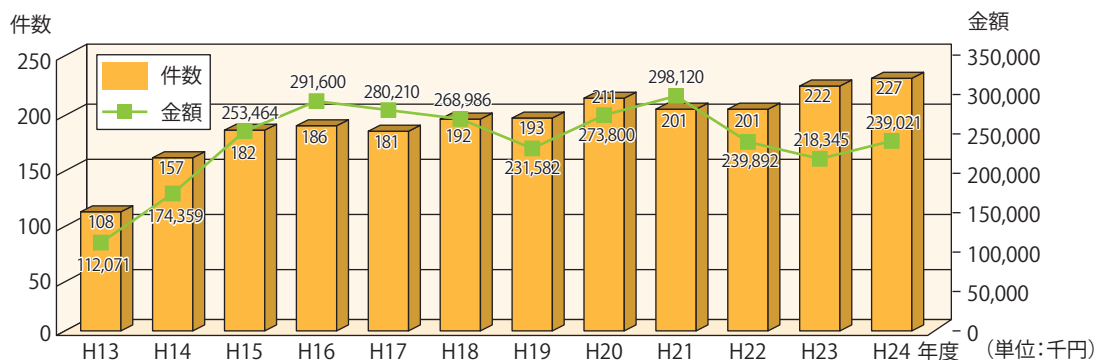
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー ラボ長 田村 和弘 (教授)

インキュベーション施設 施設長 田村 和弘 (教授)

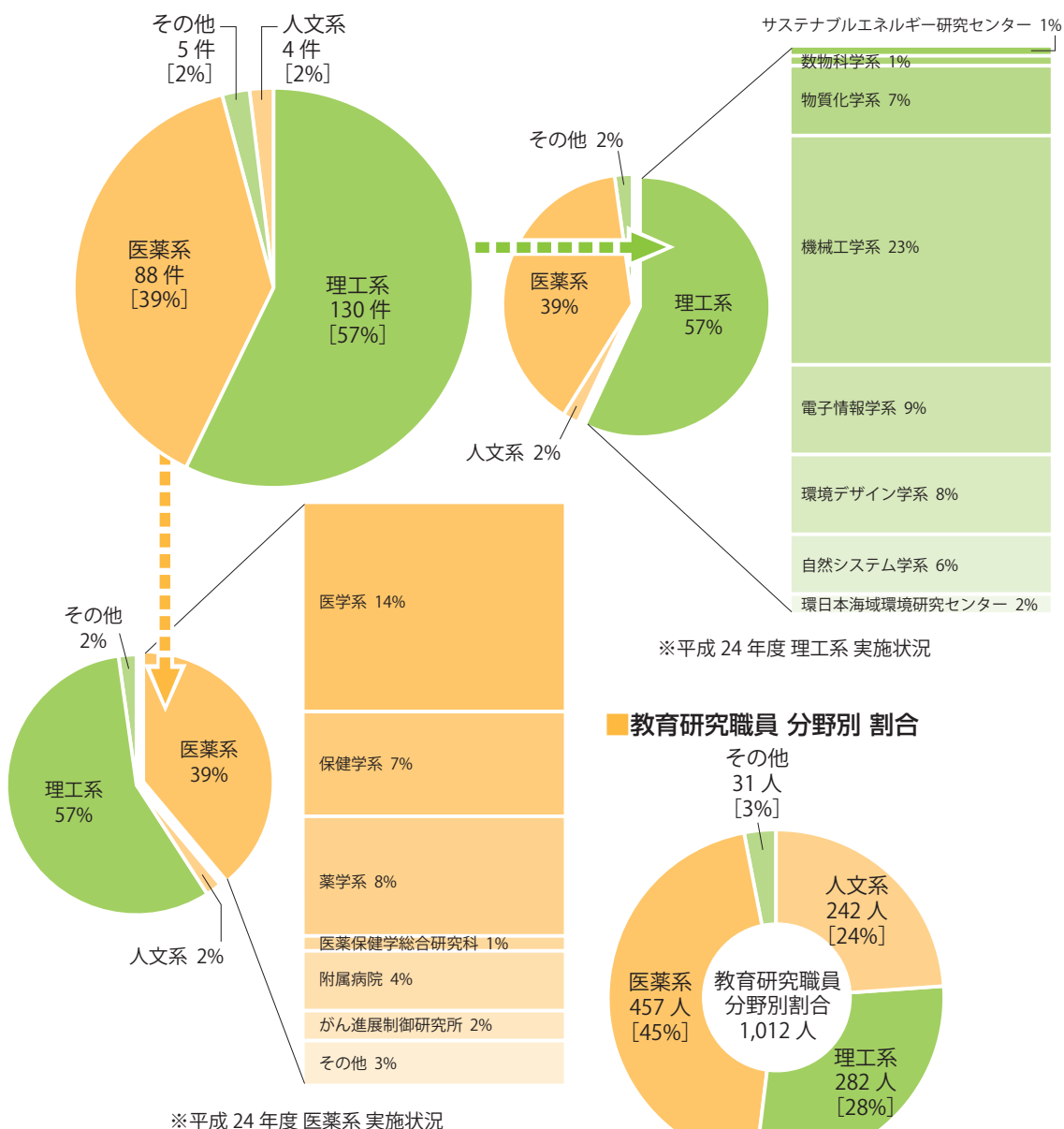
2. 共同研究について

本学での共同研究件数は200件強で推移しており、内57%が理工系、39%が医薬系に関連しております。

共同研究件数（年度別）



平成24年度 共同研究 分野別実施状況 (227件)



3. 平成24年度 共同研究一覧

下表は、平成24年度に契約された227件の産学官共同研究テーマの一部をご紹介します。共同研究を始める前の予備的検討として、「技術アドバイスサービス」を利用されることも効果的です。また、本欄掲載以外の共同研究対応可能な教員につきましても、ご紹介させていただきますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

研究題目	受入部局	職名	氏名
小型X線応力測定装置による測定技術の研究	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
機械構造部材のX線残留応力測定と疲労強度評価に関する研究	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
小型X線応力測定装置の開発	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
鉄鋼副産物活用による海域環境修復機構の解明	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理
微細藻類を用いた製鉄所排水処理用高効率バイオリアクター	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理
ガンマ線カメラの開発	理工研究域 数物科学系	准教授	米徳 大輔
メソポーラスカーボンを用いた電極材料の研究	理工研究域 物質化学系	准教授	太田 明雄
燃料電池電極触媒用カーボン担体の研究開発	理工研究域 物質化学系	准教授	太田 明雄
有機薄膜太陽電池の低コスト化と高効率化に向けた研究	理工研究域 物質化学系	教授	高橋 光信
新規低分子有機材料を発電層とした塗布型有機薄膜太陽電池の開発	理工研究域 物質化学系	教授	高橋 光信
産業廃棄物の再利用の事業化に関する検討	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
土壌中有害重金属の溶出抑制	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
腐植酸を用いた植物プランクトンの生長促進に関する研究	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
重金属の不溶化剤に関する共同研究	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
環境中における放射性物質低減技術の開発	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
重金属汚染土壌及び廃棄物に対する洗浄方法の開発	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
鉄分供給に適した腐植酸含有物質の評価技術の確立	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
コンクリートへのアクチノイド元素の浸透	理工研究域 物質化学系	教授	横山 明彦
土壌試料測定の効率化	理工研究域 物質化学系	教授	横山 明彦
高精度ロボット切断技術の研究	理工研究域 機械工学系	准教授	浅川 直紀
湿式摩擦材及び自動変速機油に関する基礎的研究	理工研究域 機械工学系	講師	岩井 智昭
ゴルフボールの斜め衝突実験と衝突特性に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	岩田 佳雄
セラミックス複合材高速加工技術の研究	理工研究域 機械工学系	教授	上田 隆司
湿式加工における工具刃先温度測定に関する研究 —工具摩耗に及ぼす影響—	理工研究域 機械工学系	教授	上田 隆司

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職名	氏名
セラミックス複合材高速加工技術の研究	理工研究域 機械工学系	教授	上田 隆司
レーザーによるサファイアウエハの熱応力割断に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	上田 隆司
レーザーによるCFRPの加工技術開発に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	上田 隆司
金属光造形複合加工法に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	上田 隆司
蝶結び装置及び、蝶結び方法の研究開発	理工研究域 機械工学系	教授	喜成 年泰
結索機の汎用性拡大に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	喜成 年泰
抗力型垂直軸風力発電機の研究	理工研究域 機械工学系	教授	木綿 隆弘
クランクシャフト専用研削盤の効果的クーラント潤滑法	理工研究域 機械工学系	教授	木綿 隆弘
防風・防雪柵に備え付ける風力発電装置の開発	理工研究域 機械工学系	教授	木綿 隆弘
オリフィス下流の壁面せん断応力測定	理工研究域 機械工学系	教授	木綿 隆弘
デシカント外気処理機開発に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	児玉 昭雄
デシカント換気空調ユニット開発に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	児玉 昭雄
磁気粘弾性エラストマに関する研究	理工研究域 機械工学系	准教授	小松崎俊彦
飲料用アルミ容器の成形性と人間工学的設計に関する研究	理工研究域 機械工学系	助教	酒井 忍
軟式野球用バットに関する研究	理工研究域 機械工学系	助教	酒井 忍
軟式野球用三ローラ式投球マシンの研究	理工研究域 機械工学系	助教	酒井 忍
ギヤの熱処理ひずみと省エネ型熱処理プロセスに関する研究	理工研究域 機械工学系	助教	酒井 忍
急激な荷振れの事前検知警告装置の開発	理工研究域 機械工学系	准教授	関 啓明
障害物との衝突・接触回避装置の開発	理工研究域 機械工学系	准教授	関 啓明
燃料の燃焼促進剤の開発及び性能向上	理工研究域 機械工学系	教授	瀧本 昭
地下水利用空調の能力シミュレーションの研究	理工研究域 機械工学系	教授	瀧本 昭
災害支援を目的とした自律航行／計画航行システム搭載回転翼機に関する基礎研究	理工研究域 機械工学系	准教授	得竹 浩
車両の運動制御について	理工研究域 機械工学系	准教授	得竹 浩
高精度姿勢角検出システムの開発	理工研究域 機械工学系	准教授	得竹 浩
ルーバフィルター型AIPによる高耐食性・高硬度テトラヘドラルDLC膜の開発と高機能樹脂加工への適用	理工研究域 機械工学系	教授	細川 晃
電気接点用銅合金の耐応力緩和特性改善に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	門前 亮一
非侵襲生体計測技術の安全・信頼性工学への応用研究	理工研究域 機械工学系	教授	山越 憲一
モータースポーツ中の生体情報計測に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	山越 憲一
手首および足背動脈における連続血圧計測の実用化に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	山越 憲一

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職名	氏名
枕型生体情報モニタリングシステムの開発研究	理工研究域 機械工学系	教授	山越 憲一
圧力センサーによる入院患者の動態検知	理工研究域 機械工学系	教授	山越 憲一
熱可塑性CFRPに即したプレス技術の確立	理工研究域 機械工学系	教授	米山 猛
自動車用CFRPのハイサイクル成形に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	米山 猛
背圧を利用した鍛造成形に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	米山 猛
プレスブレーキ用高精度曲げ角度検出装置の研究	理工研究域 機械工学系	教授	米山 猛
高断熱高強度パネルの研究開発	理工研究域 機械工学系	教授	米山 猛
健康管理アプリケーション向け常時装着型筋電計測システムのための導電布通信トランシーバLSI	理工研究域 電子情報学系	教授	秋田 純一
超高速・超小型視線検出イメージセンサとそれをを用いた視線検出システム	理工研究域 電子情報学系	教授	秋田 純一
CMOS プロセスによる光インターコネクションのための高速・高感度光検出器の研究	理工研究域 電子情報学系	教授	飯山 宏一
プラズマ切断の高性能化の研究	理工研究域 電子情報学系	教授	上杉 喜彦
原料粉体の同期間歇供給法を導入した変調熱プラズマによる機能性ナノ粒子の大量生成	理工研究域 電子情報学系	教授	田中 康規
熱プラズマ照射によるポリマー繊維の耐アーク性検証と耐アーク性繊維の探索試験	理工研究域 電子情報学系	教授	田中 康規
SF ₆ 吹付アークプラズマ減衰機構の電磁流体解析および実験による基礎検討	理工研究域 電子情報学系	教授	田中 康規
画像処理の技術サーベイ(4テーマ)	理工研究域 電子情報学系	講師	深山 正幸
磁界の可視化における研究	理工研究域 電子情報学系	教授	八木谷 聡
津波に対する防波柵の耐波性能評価に関する共同研究	理工研究域 環境デザイン学系	准教授	榎田 真也
波浪に対する防波柵の耐波性能評価に関する共同研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	齋藤 武久
フライアッシュによるコンクリートの耐久性評価に関する研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	鳥居 和之
実斜面上の崩壊土砂ならびに落石に対する高エネルギー吸収柵の性能評価に関する研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	前川 幸次
高強度金網を用いたポケット式落石防護網の性能評価に関する研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	前川 幸次
緩衝剤を有するネットフェンスの衝撃挙動に関する解析的研究	理工研究域 環境デザイン学系	教授	榎谷 浩
発泡セラミックス基盤及び基盤を活用した薄層型屋上緑化材のヒートアイランド抑制モデルの構築	理工研究域 自然システム学系	教授	大谷 吉生
溶接作業現場の環境評価と対策	理工研究域 自然システム学系	教授	大谷 吉生
乾式分散技術の高度化に関する研究	理工研究域 自然システム学系	教授	大谷 吉生
自動車部品向け高放熱接着剤の開発	理工研究域 自然システム学系	教授	田村 和弘
二軸延伸プロセスのフィルムシート挙動把握に関する研究	理工研究域 自然システム学系	教授	山田 敏郎
ポリエチレン2軸延伸過程の延伸挙動評価のための手法確立とフィルム構造評価	理工研究域 自然システム学系	教授	山田 敏郎
熱収縮フィルムの構造解析	理工研究域 自然システム学系	教授	山田 敏郎

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職名	氏名
Brain histidine effects in the suppression of hepatic glucose production 和題:脳内ヒスチン投与が肝糖新生抑制におよぼす効果	医薬保健研究域 脳研イタフェーメティン/研究センター	教授	井上 啓
臨床疫学における秘密計算・秘密分散適用研究	医薬保健研究域 健康増進科学センター	教授	大竹 茂樹
無化学・無農薬農作物摂取におけるヒトへの影響調査研究	医薬保健研究域 健康増進科学センター	教授	真田 茂
米を原料としたヘルスケア食品の開発	医薬保健学総合研究科	特任教授	太田 富久
発展途上国の小児HIV-1感染に対するLAMP法を用いた検出系の開発	医薬保健研究域 医学系	教授	市村 宏
アスタキサンチンによる非アルコール性脂肪肝 (NAFLD) 抑制効果の臨床検討	医薬保健研究域 医学系	教授	金子 周一
NASHにおけるペレチノインの病態改善作用の解明	医薬保健研究域 医学系	教授	金子 周一
抗原特異的免疫細胞療法における細胞加工・調製工程の検討と培養細胞の解析	医薬保健研究域 医学系	教授	金子 周一
がん免疫治療への化学合成 mRNA の利用	医薬保健研究域 医学系	教授	金子 周一
治験における遠隔画像中央判定システムの運用と評価に関する研究	医薬保健研究域 医学系	准教授	蒲田 敏文
不死化子宮内膜細胞を用いたプロゲステロン・ジエノゲストの薬理作用の検討	医薬保健研究域 医学系	講師	京 哲
ノルエチステロンおよびエチニルエストラジオールのヒト不死化子宮内膜症上皮細胞に及ぼす分子機構の解明	医薬保健研究域 医学系	講師	京 哲
肝臓由来分泌タンパク質の受容体に関する研究	医薬保健研究域 医学系	准教授	篁 俊成
ヒト肝臓遺伝子発現解析から抽出された創薬研究対象候補の評価	医薬保健研究域 医学系	准教授	篁 俊成
メタボリックシンドローム予防・管理のための血糖値・インスリン同時測定機器の開発	医薬保健研究域 医学系	准教授	篁 俊成
皮膚筋炎関連自己抗体検出試薬の臨床的有用性の確認	医薬保健研究域 医学系	教授	竹原 和彦
皮膚筋炎における新規自己抗体検出試薬の基礎性能評価に関する検討	医薬保健研究域 医学系	教授	竹原 和彦
抗菌効果付帯インプラントの臨床応用	医薬保健研究域 医学系	教授	土屋 弘行
ウサギ関節内癒着モデル及び腱・神経・血管癒着モデルの臨床応用に関する実験的研究	医薬保健研究域 医学系	教授	土屋 弘行
抗菌効果付帯インプラントの適応と有用性	医薬保健研究域 医学系	教授	土屋 弘行
病原体類似画像検索アプリに関する検索システムの研究	医薬保健研究域 医学系	講師	所 正治
MIBG 心筋シンチにおける機種間差補正法の開発と検証	医薬保健研究域 医学系	准教授	中嶋 憲一
コンピュータ支援診断 (CAD) による心筋シンチ診断能向上の研究	医薬保健研究域 医学系	准教授	中嶋 憲一
MIBG ファントム実験画像のデータベース化とその応用法の検討	医薬保健研究域 医学系	准教授	中嶋 憲一
放射線医学的観点からの肝細胞がんの発がんに対する非環式レチノイドの影響に関する研究	医薬保健研究域 医学系	教授	松井 修
皮膚科外用剤の薬物輸送に関する基礎的研究	医薬保健研究域 薬学系	教授	加藤 将夫
連作障害における植物性化合物の調査研究	医薬保健研究域 薬学系	教授	向 智里
反応性代謝物の評価に関する研究	医薬保健研究域 薬学系	教授	横井 毅
腫瘍診断に用いる新規PET薬剤の開発と評価	医薬保健研究域 保健学系	教授	川井 恵一

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職名	氏名
新規イメージング薬剤の開発	医薬保健研究域 保健学系	教授	川井 恵一
ヒト由来腫瘍細胞におけるアミノ酸トランスポーター遺伝子の発現プロファイリング解析	医薬保健研究域 保健学系	教授	川井 恵一
新規代謝機能診断薬剤の開発	医薬保健研究域 保健学系	教授	川井 恵一
ポータブルデジタルX線装置による動態画像診断に関する研究	医薬保健研究域 保健学系	教授	真田 茂
X線医療画像に対する新規ノイズ除去法の有用性検証	医薬保健研究域 保健学系	教授	真田 茂
留置カテーテル用の目視困難末梢静脈可視化機器の開発	医薬保健研究域 保健学系	教授	須釜 淳子
ペースメーカー患者フォローアップにおける遠隔モニタリングと定期通院の有効性と安全性の比較 (atHome 研究)	医薬保健研究域 保健学系	准教授	古荘 浩司
血液凝固第V因子の遺伝子変異の研究	医薬保健研究域 保健学系	准教授	森下英理子
食品加工排水の環境問題にかかる凝集剤の実用化開発	医薬保健研究域 保健学系	助教	本間 啓子
医療に係る統計情報プラットフォームの共同研究	附属病院	教授	長瀬 啓介
非小細胞肺癌の増殖因子受容体、シグナル伝達因子における遺伝子変異・増幅と、抗悪性腫瘍薬の効果および予後との関連を明らかにするための臨床研究	附属病院	准教授	笠原 寿郎
微生物検査の遺伝子情報検索に、乙が開発する新規迅速遺伝子解析装置「GENECUBE®」を適用する方法についての検討	附属病院	教授	和田 隆志
HGF-Met 系制御による疾患治療と創薬開発	がん進展制御研究所	教授	松本 邦夫
肺がんのEGFR-TKI治療の効果予測における血液中HGFおよび関連因子測定の意味を検討する研究	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
肺癌領域におけるエーザイ品を中心とした新たな治療戦略・レジメ開発	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
肺癌におけるTKIの耐性機構の解明	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
ウシ体外受精胚の遺伝子レベルでの品質評価	学際科学実験センター	准教授	堀家 慎一
天然植物活力液の作用機構の解析	学際科学実験センター	准教授	西内 巧
好熱性微生物及び発酵産物が植物の免疫活性等に与える遺伝学的影響評価	学際科学実験センター	准教授	西内 巧
IPv6 セキュリティに関する調査研究	総合メディア基盤センター	助教	北口 善明
リメディアル教育むけのICT教育用コンテンツの開発	総合メディア基盤センター	教授	佐藤 正英
ICTの教育活用による共通教育法の改善	総合メディア基盤センター	助教	森 祥寛
里山保全と農の環境連環の調査研究	環日本海域環境研究センター	教授	中村 浩二
骨疾患の治療薬の研究開発	環日本海域環境研究センター	准教授	鈴木 信雄
魚類のウロコを用いた宇宙生物学的研究	環日本海域環境研究センター	准教授	鈴木 信雄
坑道内水質モニタリング装置を用いた原位置固液分配係数の測定	環日本海域環境研究センター	助教	福士 圭介

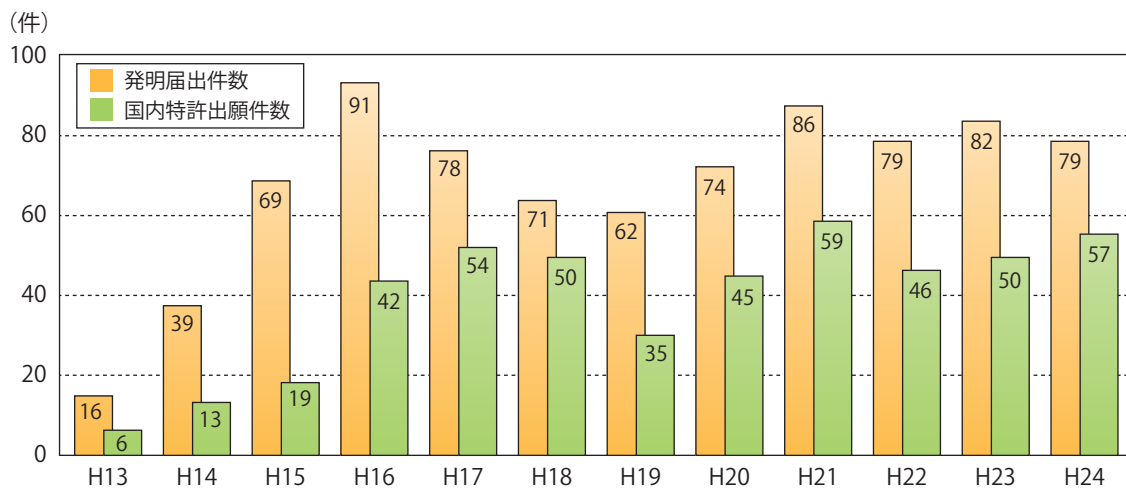
その他 90件

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

4. 特許出願について

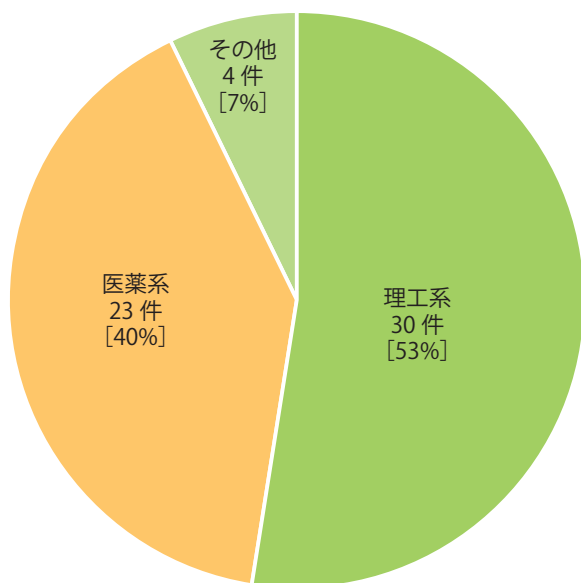
■ 発明届出・特許出願件数（年度別）

本学では、ここ数年発明届出数は80件前後／年、出願件数（共同出願を含む）は60件弱／年で推移しており、内53%が理工系、40%が医薬系に関連しております。

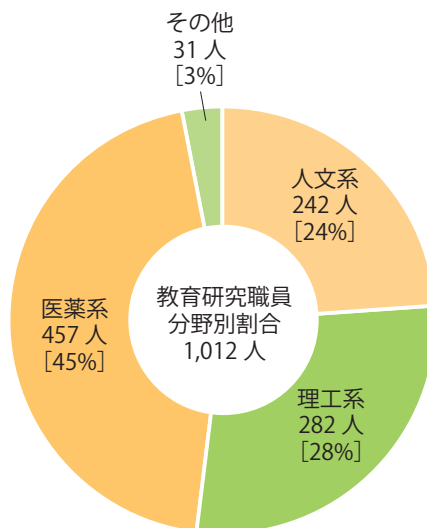


（平成13～15年度：国有特許）

■ 平成24年度 特許出願 分野別内訳（57件）



■ 教育研究職員 分野別割合



（平成24年5月1日現在）

5. 平成24年度 公開特許出願一覧

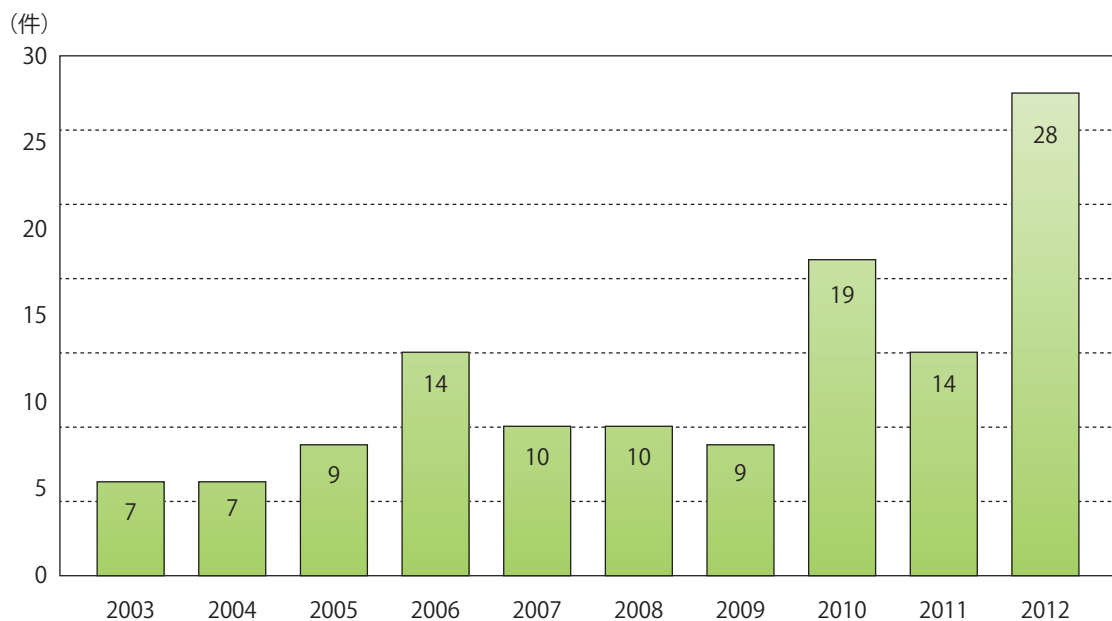
平成24年度（2012年4月1日～2013年3月31日）に公開された特許出願で、共同出願も含まれます。

発明の名称	出願番号
磁気冷凍システム用希土類磁気冷媒	特願2010-210623
中空磁歪振動子による液体供給装置	特願2010-224466
家族性高コレステロール血症の検査方法	特願2010-230449
バイオマスの前処理方法	特願2010-235045
映像装置	特願2010-233990
水処理装置	特願2010-240700
骨粗鬆症の予防及び／又は治療剤、骨吸収抑制剤、骨形成促進剤及びそれらのスクリーニング方法	特願2010-241776
神経細胞新生促進組成物	特願2010-254320
脳密度表示装置、脳密度測定方法、及びプログラム	特願2010-255241
高精度ブリッジ回路型検出器	特願2010-263057
振動装置	特願2010-267702
遺伝子発現プロファイルによる、胃癌、大腸癌、膵臓癌及び胆道癌の検出	特願2012-051184
グラフェン・ダイヤモンド積層体	特願2010-272963
PNH型白血球の検出方法	特願2010-275878
浴槽システム	特願2010-276688
腎症の進行度の判定方法並びに線維化抑制剤。	特願2010-281080
幹細胞から褐色脂肪細胞への分化誘導促進剤	特願2010-290024
走査型プローブ顕微鏡	特願2010-548389
ヒ素吸着材及びヒ素汚染物質の浄化方法	特願2010-548489
指向性音響ビームの設計方法およびスピーカアレイシステム	特願2011-015744
ロボットの運動方法決定装置、ロボットの運動方法決定方法、及び、そのプログラム	特願2011-021107
GSK3 β 阻害効果に基づく抗がん剤の評価方法	特願2012-091933
鋳物廃砂の無害化及び再利用方法	特願2011-075842
耳穴装着型骨伝導装置	特願2012-084293
スペクトラムセンサ	特願2011-118526
三価金属低減サイズセンサー由来多糖体製造方法	特願2011-524725
カンチレバー励振装置及び走査型プローブ顕微鏡	特願2011-525807
ホールブロック層およびその製造方法、ならびにそのホールブロック層を備える光電変換素子およびその製造方法	特願2011-526773
発酵熱利用システム及び発酵熱利用方法	特願2011-149472
医療用ガイドカテーテル	特願2011-146912
遺伝子発現プロファイルによる消化器癌、胃癌、大腸癌、膵臓癌及び胆道癌の検出	特願2011-528728
神経細胞とグリア細胞を共培養する方法	特願2011-154155
家族性高コレステロール血症の迅速遺伝子解析方法及び該方法に使用するプライマーセット	特願2012-132894
ダイヤモンド基板	特願2011-159584
熱交換器の伝熱管配列構造	特願2011-159027
記憶回路	特願2011-168944
抵抗変化型不揮発性記憶素子の書き込み回路	特願2011-178591
前立腺癌治療組成物及び前立腺癌治療組成物の有効成分のスクリーニング方法	特願2011-183183
破骨細胞が関与する疾患の予防剤及び／又は治療剤	特願2011-238455
ホールブロック層の製造方法、ホールブロック層、光電変換素子、光電変換装置、有機薄膜太陽電池パネル、および発光装置	特願2011-190743
尿検査方法及び尿検査用キット	特願2011-195187

6. 特許実施許諾について

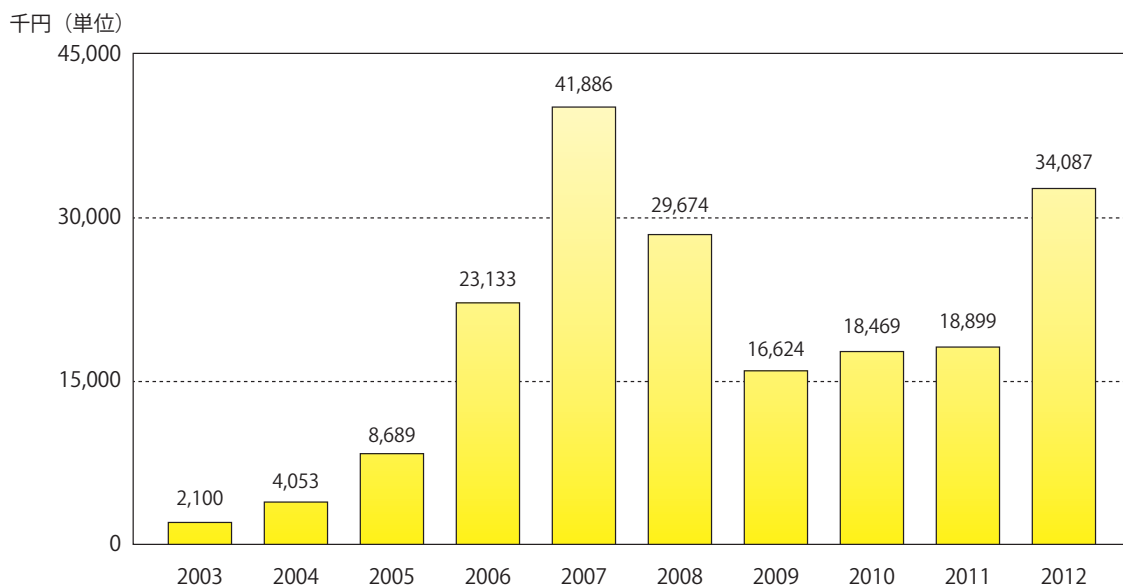
平成24年度は実施許諾件数、実施料収入が前年度に比較して大きく増加しております。また、文部科学省より公表された「平成23年度大学等における産学連携等実施状況について」より抜粋した特許権実施等件数及び収入における個別実績（平成23年度上位機関）によると、金沢大学は件数で12位、収入で15位となっております。

■実施許諾契約件数（年度別）



（平成25年3月末日現在）

■実施料収入額（年度別）



（平成25年3月末日現在）

■ 特許権実施等件数及び収入における個別実績（平成23年度）

■ 特許権実施等件数（外国分を含む）

No.	機関名	件数
1	東京大学	750
2	東京工業大学	383
3	慶応義塾大学	303
4	日本大学	300
5	北海道大学	259
6	京都大学	258
7	東北大学	250
8	広島大学	230
9	九州大学	204
10	信州大学	167
11	奈良先端科学技術大学院大学	140
12	金沢大学	129
13	名古屋工業大学	117
14	大阪大学	104
15	岡山大学	94
16	徳島大学	93
17	九州工業大学	90
18	同志社大学	77
19	東海大学	72
20	神戸大学	70

※上位20機関

■ 特許権実施等収入（外国分を含む）

（単位：千円）

No.	機関名	収入額
1	京都大学	224,291
2	東京大学	138,549
3	大阪大学	76,244
4	日本大学	41,339
5	北海道大学	41,117
6	東京工業大学	34,301
7	東北大学	33,646
8	九州大学	33,430
9	慶応義塾大学	31,694
10	高知大学	22,994
11	奈良先端科学技術大学院大学	21,820
12	近畿大学	16,066
13	筑波大学	15,863
14	山口大学	15,189
15	金沢大学	14,314
16	広島大学	13,442
17	豊橋技術科学大学	12,772
18	鹿児島大学	12,339
19	九州工業大学	11,394
20	埼玉医科大学	11,020

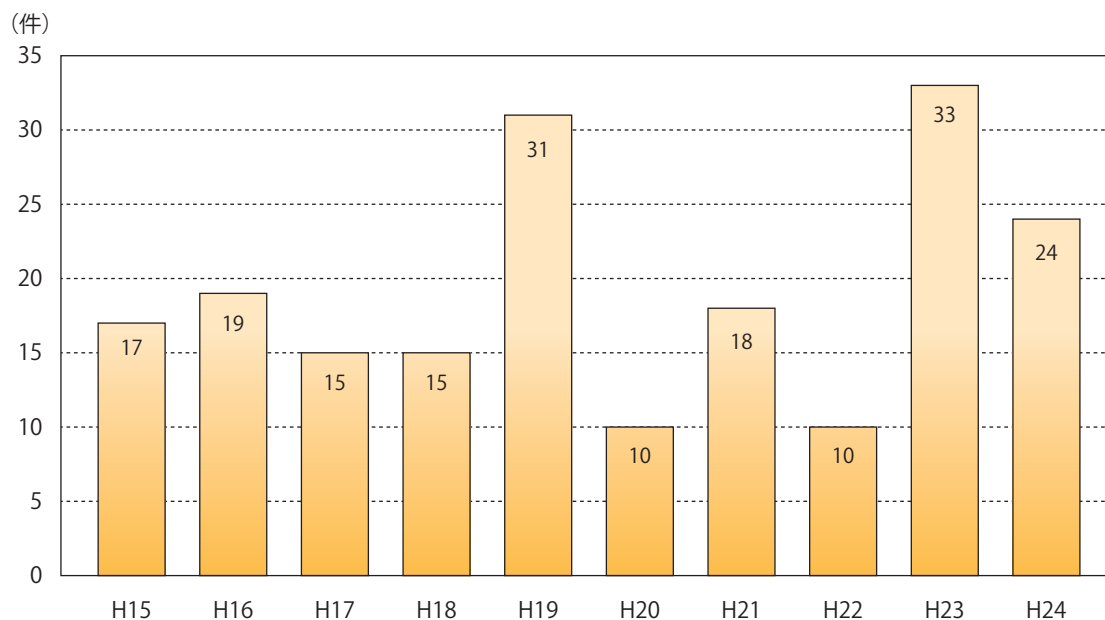
※上位20機関

※文部科学省「平成23年度大学等における産学連携等実施状況について」より

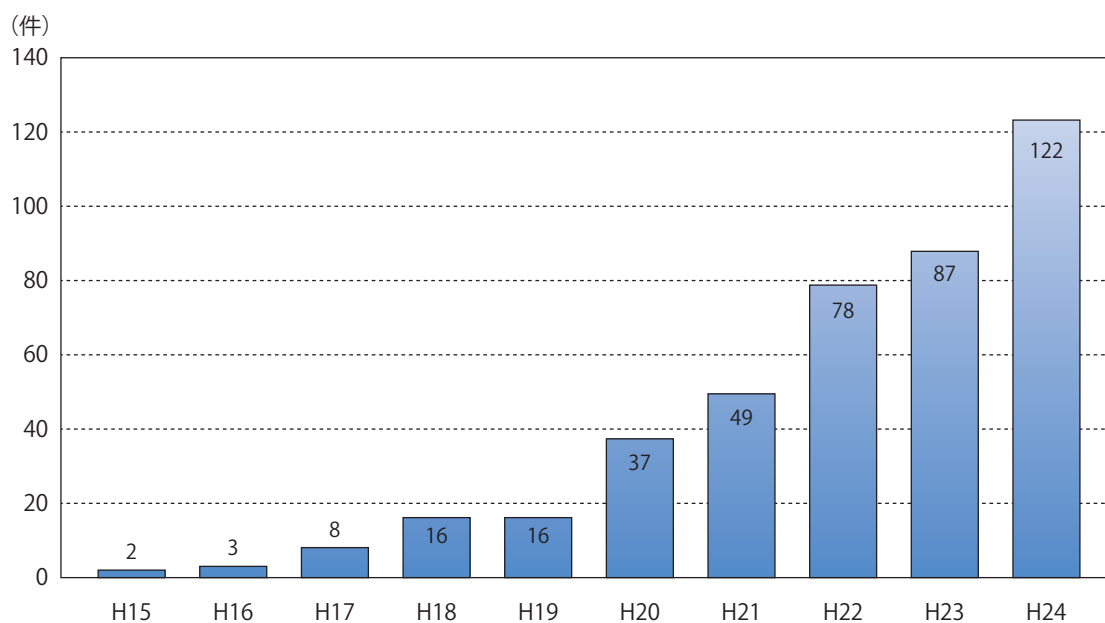
7. 研究成果有体物の譲与・受入状況

研究目的での研究成果有体物の譲与、受入は無償が原則で、下記データのほとんどがこれに該当します。

■ MTA 譲与（年度別）



■ MTA 受入（年度別）



8. ご案内

科学技術相談について

科学技術相談は、技術面での情報収集や共同研究に向けての最初のとっかかりとして、とても有効なものです。当機構では、随時無料にて、相談を受け付けておりますので、お気軽に先端科学・イノベーション推進機構 産学官連携・知財推進グループまで、お電話またはE-Mail (innov@adm.kanazawa-u.ac.jp) にてご連絡ください。

技術アドバイスサービスについて

技術アドバイスサービスは、無料の技術相談と共同研究の間をうめ、よりきめの細かいサービスを行うために、金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会のご協力をいただき実施しているものです。

これまで、金沢大学では、学内の先生方の協力をいただき、無料の技術相談を行ってきました。具体的には先端科学・イノベーション推進機構の教員、コーディネータ更には学内の専門の先生方が、大学の相談窓口となって、企業様の抱えていらっしゃる問題をお伺いし、専門の範囲内でのご相談に乗ってきました。

その結果、解決の方向が見え、その実施にあたり、専門の先生のノウハウが必要とされる場合には、共同研究として、更につっこんだ支援をさせていただきました。

共同研究は大学の研究者が興味を持てるテーマが選ばれるのが普通であり、有料であるとともに、必然として研究的性格が優先されてきました。共同研究に対してのこのような取り組み方が、「大学は敷居が高い」といわれる所以でもありました。

技術アドバイスサービスは、研究テーマとならないけれども、専門知識を必要とする実用的な事柄についても、相談に乗って欲しいという企業様からのご要望に応えようと、金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会のご支援の下サービスを開始したものです。

技術アドバイスサービスのメリットは、企業様にとって、

- ①共同研究に比べ手軽に利用できる
- ②費用も格段に安く上がる
- ③短期間にそれなりの回答（アドバイス）が得られる

又、大学の研究者にとっては、

- ①実用性の高い研究ができる
- ②作業も限定されており、気軽に自分の専門を生かせる
- ③机上作業位の費用は出る
- ④企業様の最近の動向が分かる

と双方にとって、メリットがあるものです。是非有効に活用していただければと思っております。

ホームページより、各種ご相談及び技術アドバイスサービスの申込を、随時受け付けております。

申込書のダウンロードも可能です。是非ご利用ください。

- 先端科学・イノベーション推進機構協力会 <http://www.innov.kanazawa-u.ac.jp/ccr/kyouryokukai/>
- 先端科学・イノベーション推進機構 <http://www.o-fsi.kanazawa-u.ac.jp/>

技術アドバイスサービスの流れ

技術アドバイスサービスは、原則として「1～2時間の面接を2回」予定しており、費用は3万円となっております。

第1回

技術アドバイスサービスの1回目は技術相談と似ております。

研究者とコーディネータが企業の抱えている案件について詳細に伺います。その際、その案件の問題点・解決策・将来性を明らかにすることを目的とし、確認を行います。（納期の確認を含む）

研究者はそこで、確認した事項に関し、過去の経験を生かして、原因を列挙し、問題点の整理を行います。

第2回

二回目の打合せでは、研究者が整理した、問題点もしくは解決策（アドバイス）について、企業様にご説明いたします。

■お問合せ先

金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構協力会
〒920-1192 金沢市角間町
Tel : 076-264-6111
Fax : 076-234-4019
E-Mail : innov@adm.kanazawa-u.ac.jp

平成 年 月 日

技術アドバイスサービス申込書

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会 殿

下記のとおり技術アドバイスを申し込みます。

申 込 者	企業等名				
	所属・職名			ふりがな	
				氏名	
	連絡先	住所	〒		
TEL		()	-		
FAX		()	-		
	E-mail				
アドバイス分野(○で囲んでください) <input type="checkbox"/> エレクトロクス <input type="checkbox"/> 環境・エネルギー <input type="checkbox"/> 機械 <input type="checkbox"/> 材料(ナノ) <input type="checkbox"/> ソフトウェア <input type="checkbox"/> 土木建築 <input type="checkbox"/> バイオ <input type="checkbox"/> その他()					
担当希望教職員名(できれば記入してください)					
アドバイス概要(具体的に記入してください)					
問題の背景・狙い:					
対象範囲:					
納期・期限:					
その他:					
協力会記入欄(※記入しないでください)					
提 出 先	金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 協力会 〒920-1192 石川県金沢市角間町 TEL 076-264-6111 FAX 076-234-4019 E-mail innov@adm.kanazawa-u.ac.jp		※記入しないでください		
			受付日	協力会担当	アドバイス担当教職員

共同研究について

企業等の研究者と本学の教員とが共通の研究課題について、対等の立場で共同して研究を行う制度です。

共同研究を行う上で、テーマ・担当教員・進め方等が具体的にお決まりでない場合は、先端科学・イノベーション推進機構に一度ご相談ください。専任教員とコーディネータが、研究者とのコーディネートを行います。

1. 共同研究の形態

企業等から研究者と研究経費を受け入れて、基本的に本学において研究を行うタイプの『派遣型』、本学の教員と企業等の研究者が、共通の研究課題について研究を分担し、それぞれの施設において研究を進めるタイプの『分担型』があります。

2. 共同研究に必要な経費

企業等に負担していただく経費は、次のようになっています。

研究料	企業等の研究者の受入れに必要な経費
直接経費	共同研究に必要な謝金、旅費、消耗品・設備購入費などの直接経費
間接経費	直接経費の5%

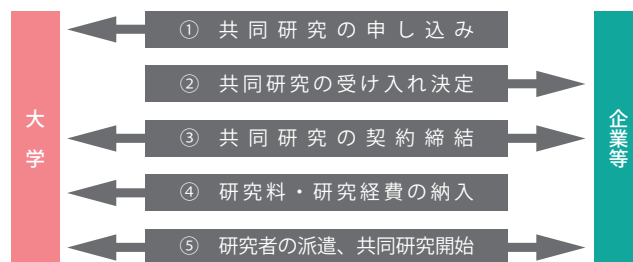
3. 共同研究に使用する施設、設備等

本学及び企業等で、使用する施設、設備の維持・管理に必要な経費（経常経費）は、それぞれが負担します。

4. 本学への申込時期

随時可能です。

5. 共同研究の実施手順



共同研究の「申込書」は、以下の URL どちらからでも、ダウンロードが可能です。

6. お問い合わせ先

共同研究に関するご相談について

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構 産学官・知財推進グループ

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL: 076-264-6111 FAX: 076-234-4019 E-mail: innov@adm.kanazawa-u.ac.jp (産学官連携関連)

URL: <http://www.o-fsi.kanazawa-u.ac.jp/>

共同研究の手続き・申込みに関するお問合わせ

金沢大学研究推進部産学連携課

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL: 076-264-5298 FAX: 076-234-4012 E-Mail: sangaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL: http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_kyoryoku/co_research/kyodou/kyoudou.html

7. 申込書記入要領

項目1. 共同研究の形態

企業等から研究者と研究経費を受け入れて、基本的に本学において研究を行う場合（派遣型）は、「ア」を○で囲んでください。

本学の教員と企業等の研究者がそれぞれの施設において研究を行う場合（分担型）は、「イ」を○で囲んでください。

項目2. 研究題目、項目3. 研究目的及び内容

他の共同研究と重複しないように記入してください。

項目4. 研究期間

希望する研究期間を記入してください。

項目5. 研究に要する経費の負担額（総額分）（消費税及び地方消費税を含む）

直接経費は、共同研究遂行のために、特に必要となる謝金、旅費、消耗品費、設備購入費等の直接的な経費の合計額を記入してください。

間接経費は、直接経費の5%を計上願います。

研究料は、企業等が本学に研究者を派遣する場合に必要な共同研究員研究料を記入してください。

※間接経費の計算例

直接経費が1,000,000円の場合の間接経費の額は、50,000円となります。

$1,000,000円 \times 0.05 = 50,000円$

研究経費（直接経費+間接経費）が1,000,000円の場合の間接経費の額は、47,600円となります。

$1,000,000円 \times 5 / 105 \div 47,600円$ （百円未満切捨て）

項目6. 2事業年度以上にわたる研究の場合は次年度以降の直接経費及び研究料の全体計画

この欄は、研究期間が複数年度で、上記の「5 研究に要する経費の負担額（総額分）」を年度毎に分割してお支払いになる場合に記入してください。（一括してお支払いになる場合は、記入の必要はありません。）

項目8. 企業等共同研究員

「所属・職」欄は、所属部署及び役職名を記入してください。

「派遣の有無」欄は、研究の形態が「ア金沢大学における共同研究」の場合は「有」を、「イ金沢大学及び企業等における共同研究」の場合は「無」を○で囲んでください。

項目10. 提供設備等

企業等から、本学への貸与設備がある場合に、設備の名称、規格及び数量を記入してください。

記入例：原子吸光光度計 ㈱〇〇社製 A100 1式

共同研究申込書

年 月 日

国立大学法人金沢大学長 殿

申込者

〒

住 所

企 業 等 名

代表者職・氏名

①

金沢大学共同研究取扱規程を遵守の上、下記のとおり共同研究を申し込みます。

記

1 研究の形態	ア 金沢大学における共同研究			
	イ 金沢大学及び企業等における共同研究			
2 研究題目				
3 研究目的及び内容				
4 研究期間	平成 年 月 日から平成 年 月 日まで			
5 研究に要する経費の負担額(総額分) (消費税及び地方消費税を含む)	直接経費		円	
	間接経費		円	
	研究料		円	
	合計		円	
6 2事業年度以上にわたる研究の場合は次年度以降の直接経費及び研究料の全体計画	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
	直接経費 千円 研究料 千円	直接経費 千円 研究料 千円	直接経費 千円 研究料 千円	直接経費 千円 研究料 千円
7 研究実施場所	金沢大学			
	企業等			
8 企業等共同研究員	所 属 ・ 職		氏 名	派遣の有無
				有 無
9 希望する研究担当教員	所	属	職	氏 名
10 提供設備等				
11 その他	担当者, 連絡先等			
	電話	()	—	
	FAX	()	—	
	e-mail	[]

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会のご案内

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会は、金沢大学先端科学・イノベーション推進機構の事業を支援し、金沢大学と産業界が地に足のついた産学連携と相互の日常的な交流を進めることを目指し設立された団体です。

会員企業の皆様の相互の意見交換のみならず、大学のイベント、広報物の情報を随時発信いたします。

また、会員企業の皆様に本学の学生並びに教員に対するご発表の場も設けさせていただいております。

今後は、会員企業様と大学の関係をより強化するため、研究シーズのご紹介や産学官に関するフォーラムのお知らせ等を積極的に行って参ります。

要項

【会員】 会員は本会の事業に賛同する法人または団体等とします。

【会費】 会費は、年会費一口3万円とします。

【設立】 平成13年7月

活動

- ・産学連携コーディネーターの支援強化
- ・技術アドバイスサービスの実施
- ・先端科学・イノベーション推進機構と共催し、セミナー・講演会の実施
- ・各種説明会の開催
- ・各種イベントへの参加
- ・企業等への見学、実情視察
- ・刊行物の発行
- ・その他

入会のメリット

- (1) 協力会HPでは、大学から企業様へのご案内（技術研究情報・イベント・セミナー等）だけではなく、企業様自身のイベント案内にもご利用いただけます。
※営利目的でのご利用はご遠慮ください。
- (2) 有益な公的資金情報をご紹介すると同時に、資金獲得に向け大学との連携の検討等を含め申請のサポートをいたします。
- (3) 会員企業様に対しては、各種のご相談を受け付けます。
ご相談には、誠意を持って対応させていただきます。お気軽にご相談ください。
- (4) 専門知識を必要とするご相談には、技術アドバイスサービスが有効です。最適な教員をご紹介し、対応させていただきます。
入会企業様には、技術アドバイスサービスの実費の一部を、協力会よりサポートさせていただきます。
- (5) 会員企業様HPをリンク掲載し、ご紹介いたします。簡単な企業PRも一文掲載可能ですので、お気軽にご相談ください。

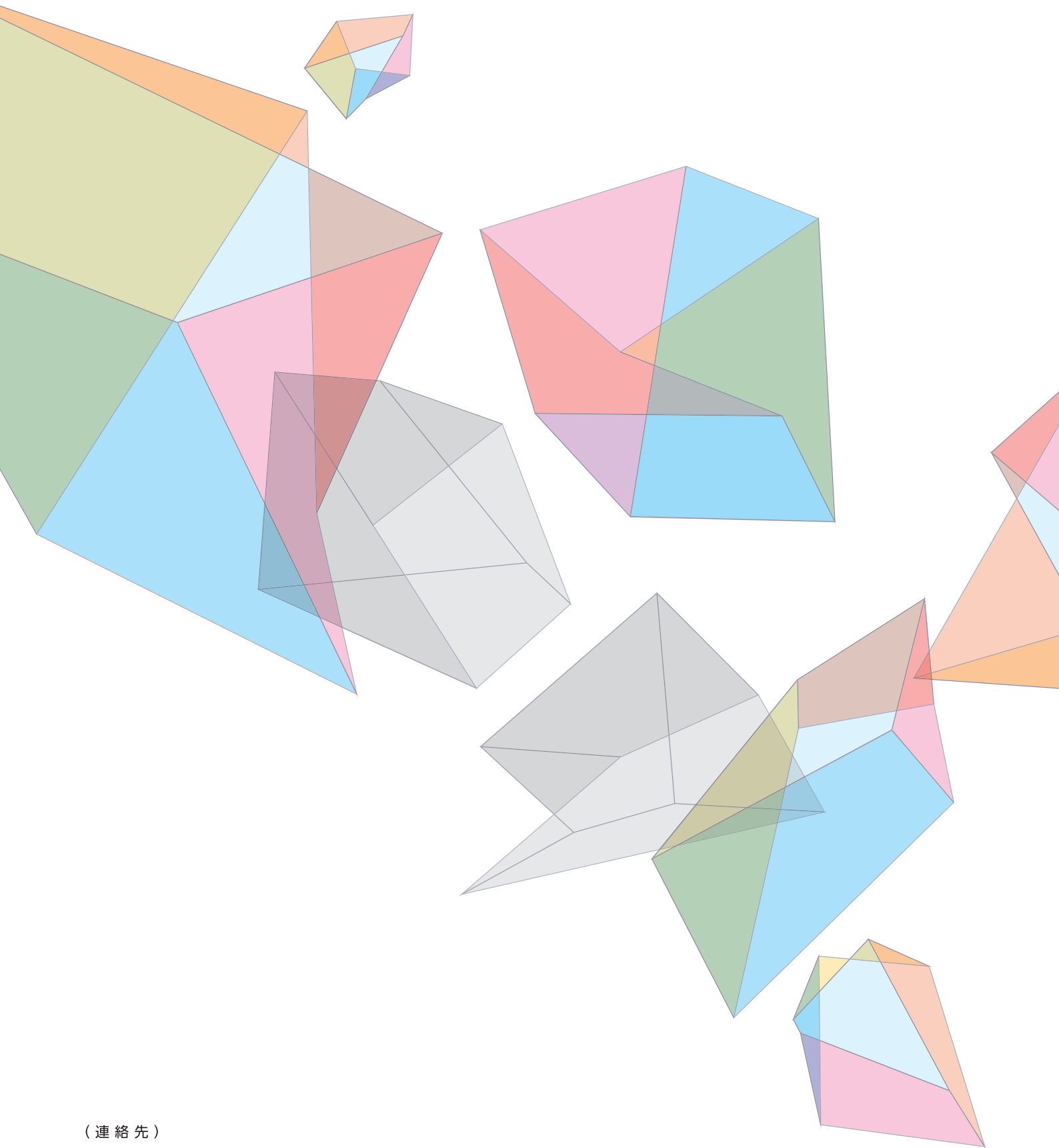
金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会事務局

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構内

Tel 076-264-6111 Fax 076-234-4019

E-Mail innov@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL <http://www.innov.kanazawa-u.ac.jp/ccr/kyouryokukai/>



(連絡先)

**金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 (O-FSI)
産学官連携・知財推進グループ**

〒920-1192 金沢市角間町

T E L:076-264-6111

F A X:076-234-4019

E-Mail: innov@adm.kanazawa-u.ac.jp (産学官連携関連)

U R L: <http://www.o-fsi.kanazawa-u.ac.jp/>